



ルールを守って楽しく、安全に走行しましょう！

受付時に配布したものについて

プロのスポーツカメラマンが
撮影した写真を、インターネット
で閲覧・購入できます。

ALL SPORTS Community 公式写真販売サービス オールスポーツコミュニティ

あなたの勇姿を インターネットで見られます。

All Style Meeting

あなたの写真を見る方法!!

パソコンから
検索サイトなどでオールスポーツと検索します。
オールスポーツ 検索

スマートフォンから
写真公開QRコードを
読み込んでアクセス

※ イベントID **E625292** で検索します。

※ 閲覧パスワードは不要です。
写真を見ることができます。気に入った写真は、ご購入いただけます。

※ 注文期限は **2018年7月17日(火) 24:00** まで。
公開日が前後する場合がございます。公開日にあわせて注文期限を延長いたします。注文期限後は、価格が変動(1.5倍-)いたしますので、ご注意ください。

半段られた数のプロカメラマンが得意しているため、すべての方々に撮影できない場合もございます。ご理解いただけますようお願い申し上げます。

■ 弊社は、写真販売(写真データおよび写真データの印刷物を含む)の目的で、本会場で撮影した写真を弊社が運営するウェブサイト上に掲載し、お客様が自由に写真を購入するサービスを提供しております。

■ 写真の複製の禁止、盗刷、複製伝送等の変更を希望するお客様は、<http://photocreate.co.jp/privacy/jp/> を確認のうえ、手続きをおこなってください。

■ 弊社ウェブサイト上に掲載され、購入することができる写真は、本会場において撮影されたお客様自身の写真、写真データ、写真データの印刷物となります。

■ 本会場に準じられた写真は、本チラシに記載されている閲覧パスワードを入力し(閲覧パスワードを入力する必要がない場合もあります)、弊社ウェブサイトを開覧していただくうえで、弊社に対して、弊社ウェブサイト上からオンラインでの注文、電話・FAXでの注文をおこなうことにより写真を購入することができます。

感動をカタチにしてすべての人へ ※不明な点は以下連絡先までお問い合わせください。(TEL:平日10:00-18:00/FAX&E-mail:24時間受付中)

株式会社フォトクリエイト
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-16-6 タツミビル2F
TEL: 03-5909-5880 FAX: 03-3348-5105 support@photocreate.co.jp Photo Create

写真の閲覧・購入には
イベントIDが必要です。
大切に保管してください。

走行前の準備について

1. 計測器の取り付け方

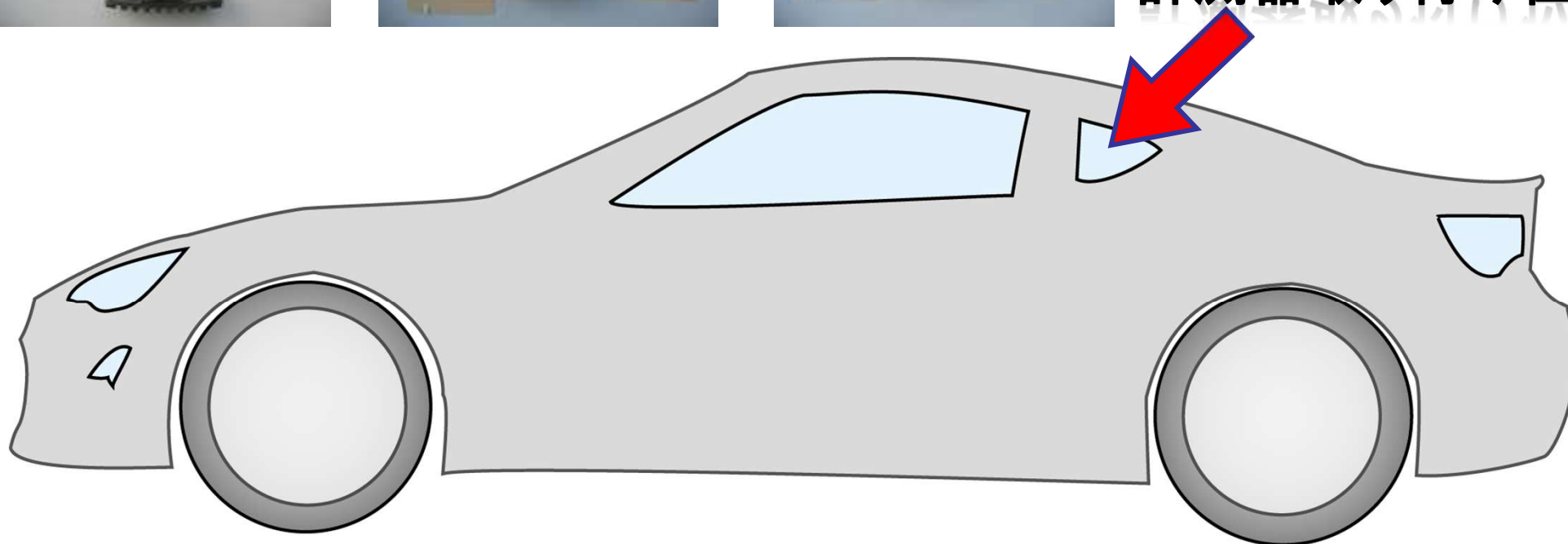
①リアガラス内側にホルダーを固定する。

②計測器本体をセットし、ピンで留める。

≪注意≫車外には取り付けないでください。**落下、破損した場合は補償の対象外**です。



計測器取り付け位置



走行前の準備について

2. ゼッケンの貼付位置

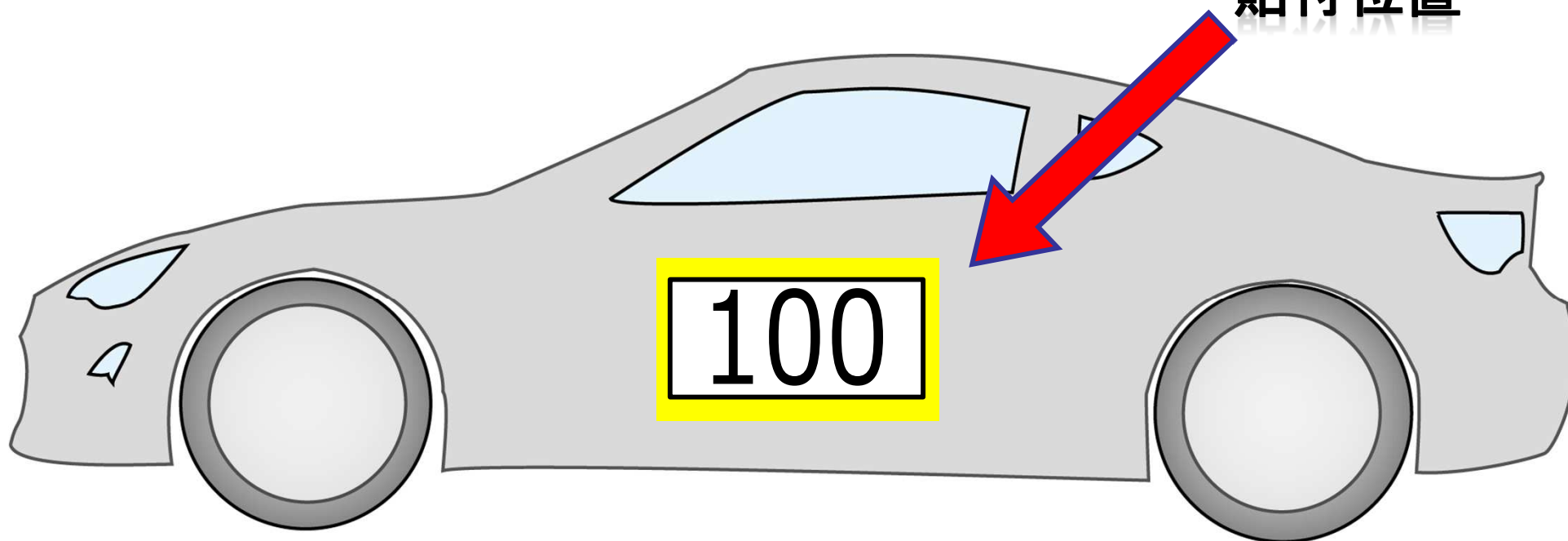
車体の左右ドアに貼り付けてください。

風圧で飛んでしまわないよう、四辺しっかりと貼り付けてください。

万が一、走行中に右側のゼッケンが剥がれてしまった場合は、左側に貼ったゼッケンを右側に貼り替えてください。

自車のゼッケン番号は必ず覚えてください。

ゼッケン
貼付位置



走行前の準備について



【給油】

コース内でガス欠・・・なんてことにならないよう
予め給油しておきましょう！



【タイヤの確認】

空気圧・ホイールナット締め付け・センターキャップ取り外し



【牽引フックの装着】

車載のねじ込み式フックを装着して走行してください！



【積荷下ろし】

走行に不要な荷物は下ろす、もしくは固定を！

装備品について

- ①フルフェイスまたはジェット型ヘルメット
あご紐の締め忘れに注意！



- ②レーシングスーツまたは綿製の長袖長ズボン
暑くても腕まくり禁止！

- ③レーシングシューズまたは履きなれた運動靴

- ④レーシンググローブまたは同等の材質を有するもの
軍手はNG！

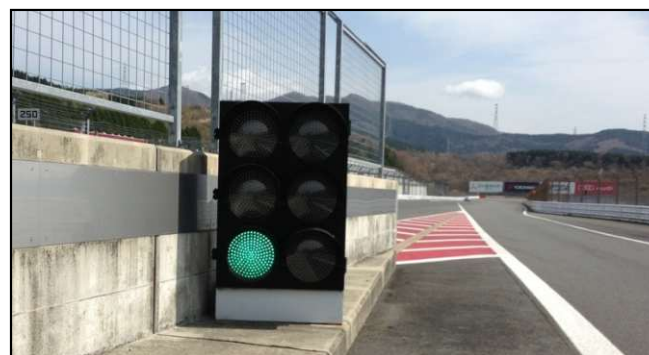
③コースイン手順

①場内放送

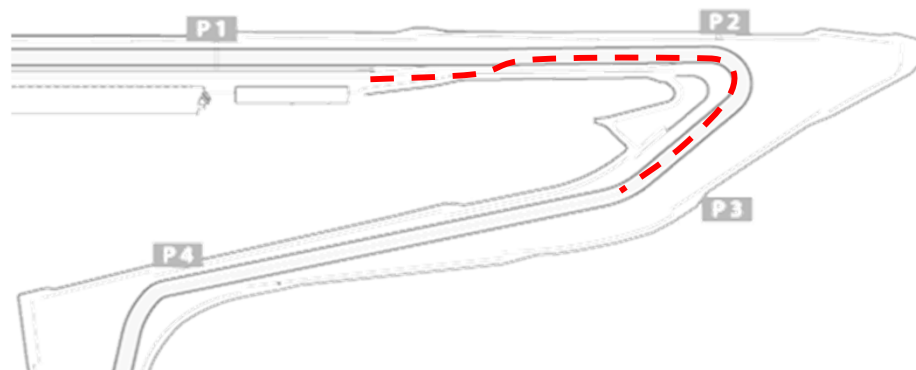
『まもなく〇〇クラスの走行を開始します〇〇クラスの方はピットエンドでお待ちください。』
という放送が掛かったらピットエンドで待機してください。
ピットロードは**60km/h以下**で走行してください
1ヒート目走行開始時には先導車の後ろに並んでお待ちください。

②ピットエンド信号灯

信号灯がグリーンに点灯していることを
確認してコースインしてください



③第2コーナー付近までは右側を走行



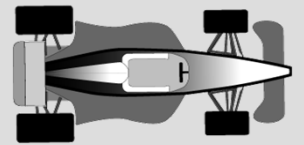
白線（実線）を跨いで
コースインすると危険です！

レーストラック 進行方法→

サインウォール

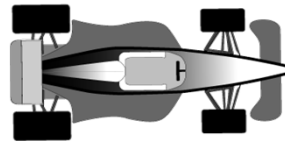
走行エリア

60km/h以下で走行

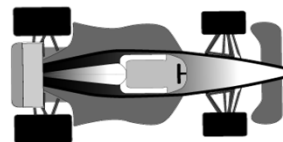
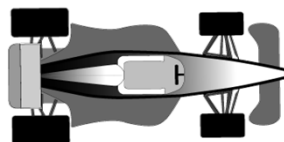


ブルーのライン

作業エリア



空気圧の調整など



ピット

ピット

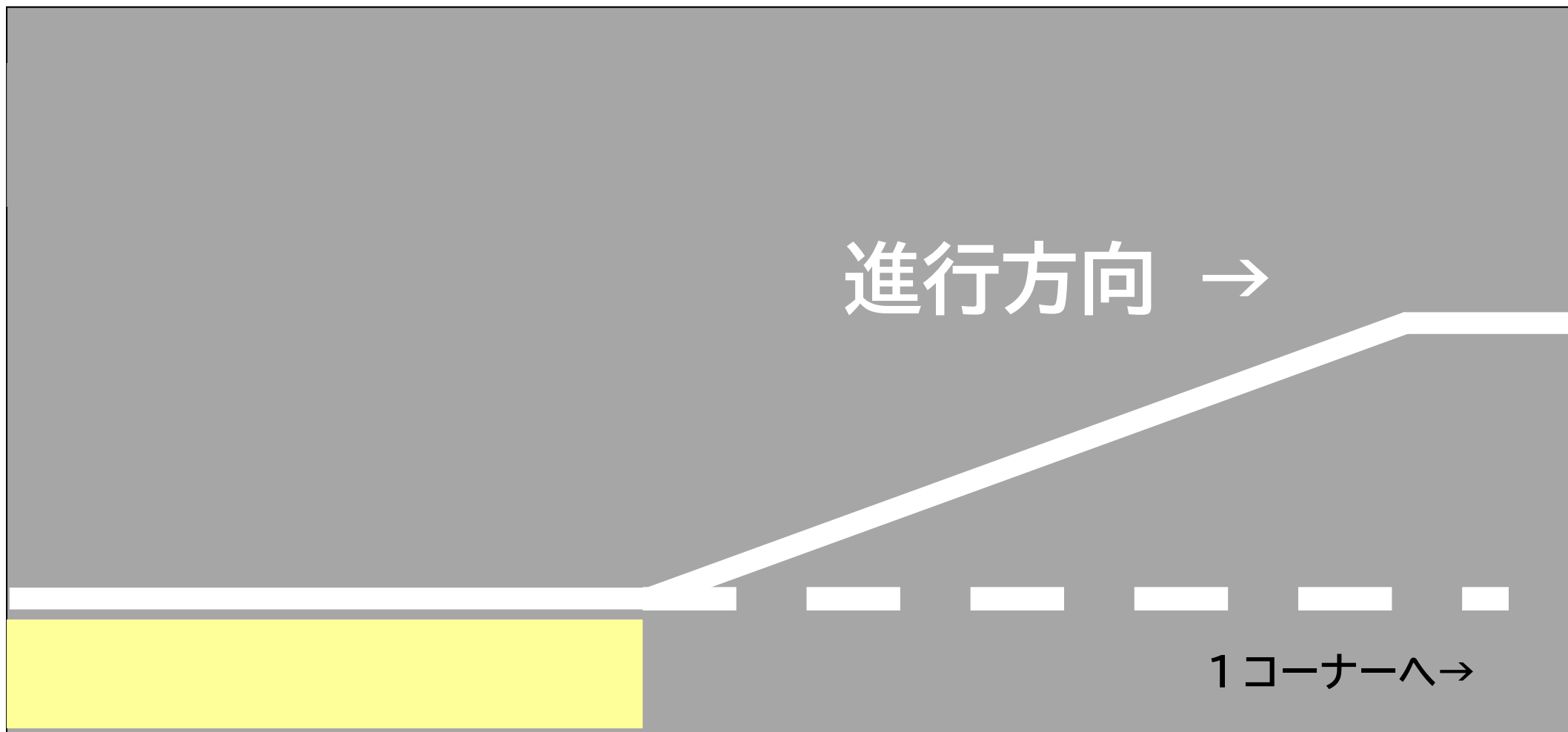
信号



ピットエンドの白線までは60km

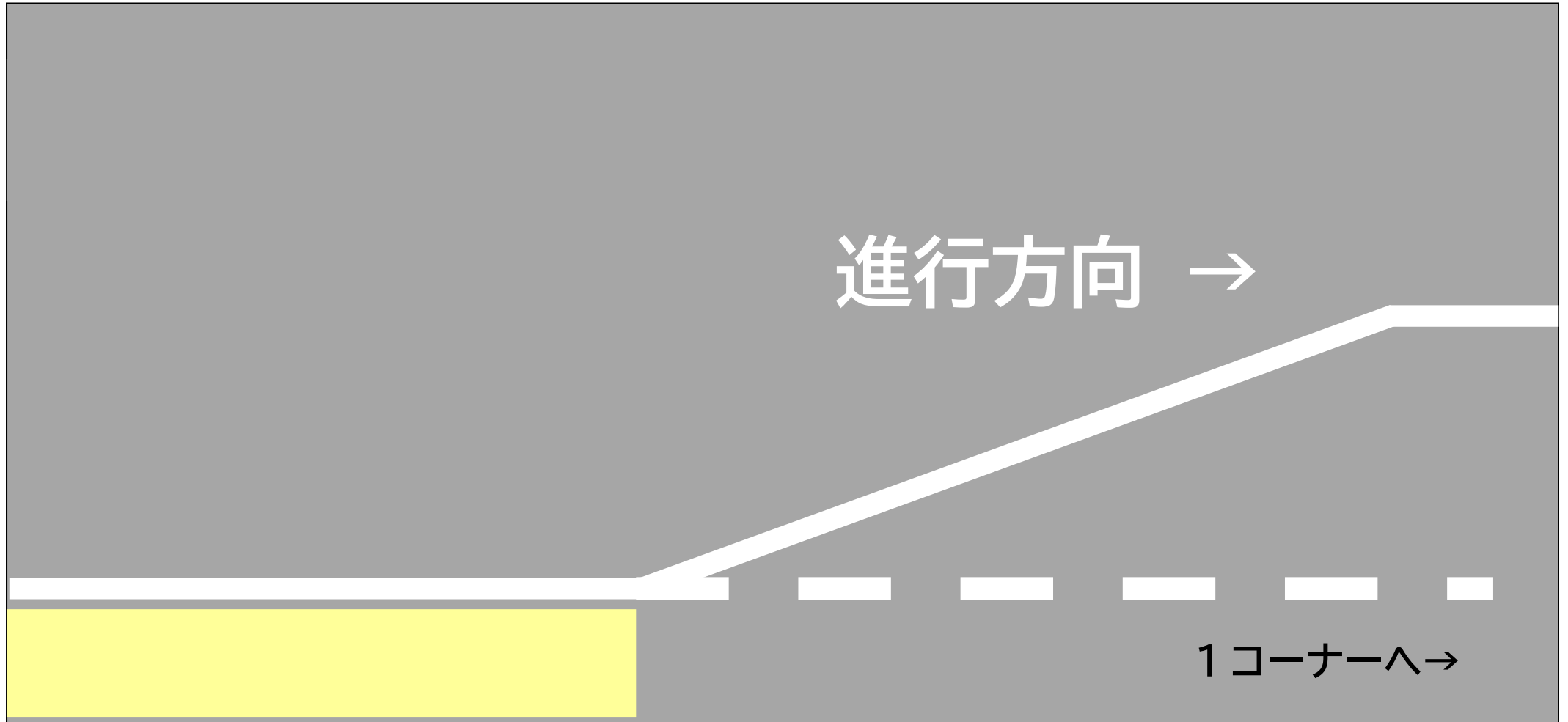


ピットアウトの際、
ピットロードから伸びている白の実線を踏んだり跨いだりしてはダメ！！



Good!

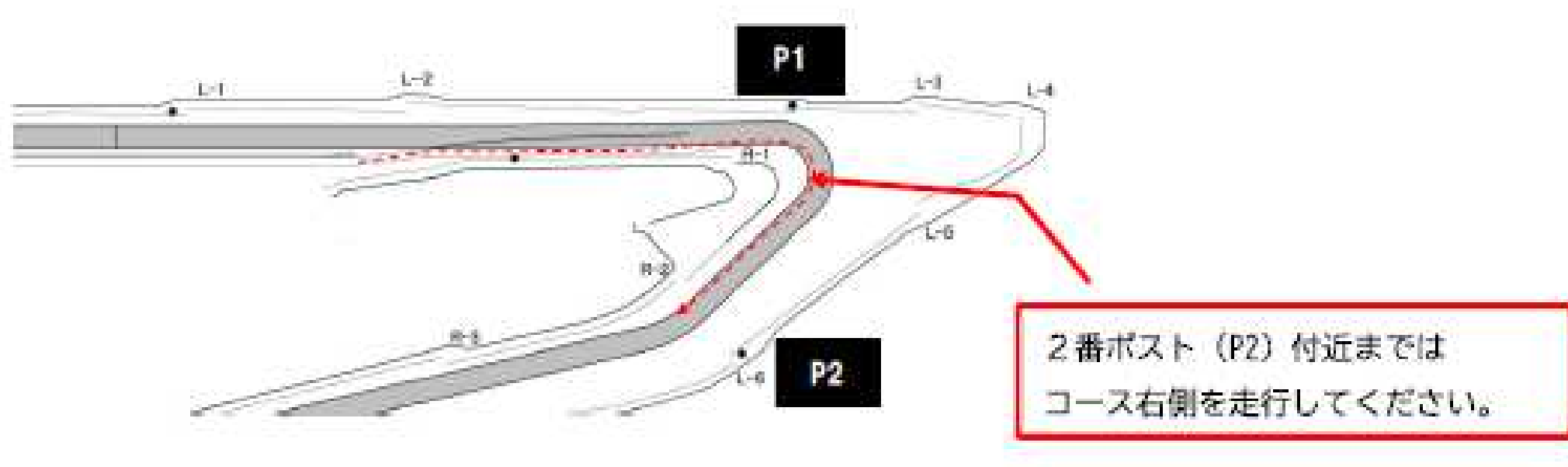
ピットアウトの際、
ピットロードから伸びている白の実線を踏んだり跨いだりしてはダメ！！



絶対ダメ！

第2コーナー付近までは右側を走行してください。

白線（実線）を跨いでコースインすると危険です！



走行中の注意事項



- ①コース内を低速走行する場合は、避ける方向にウィンカー点灯し、そのままキープして走行後続車両に気をつける
- ②レーシングコースはドリフト走行禁止！グリップ走行のみ！
タイヤ痕除去の為、施工費が請求されます。
- ③同乗走行はできません。
- ④自車のゼッケン番号をしっかりと覚えて走行してください。
PIT IN ボードが表示されることがあります。

チェッカー

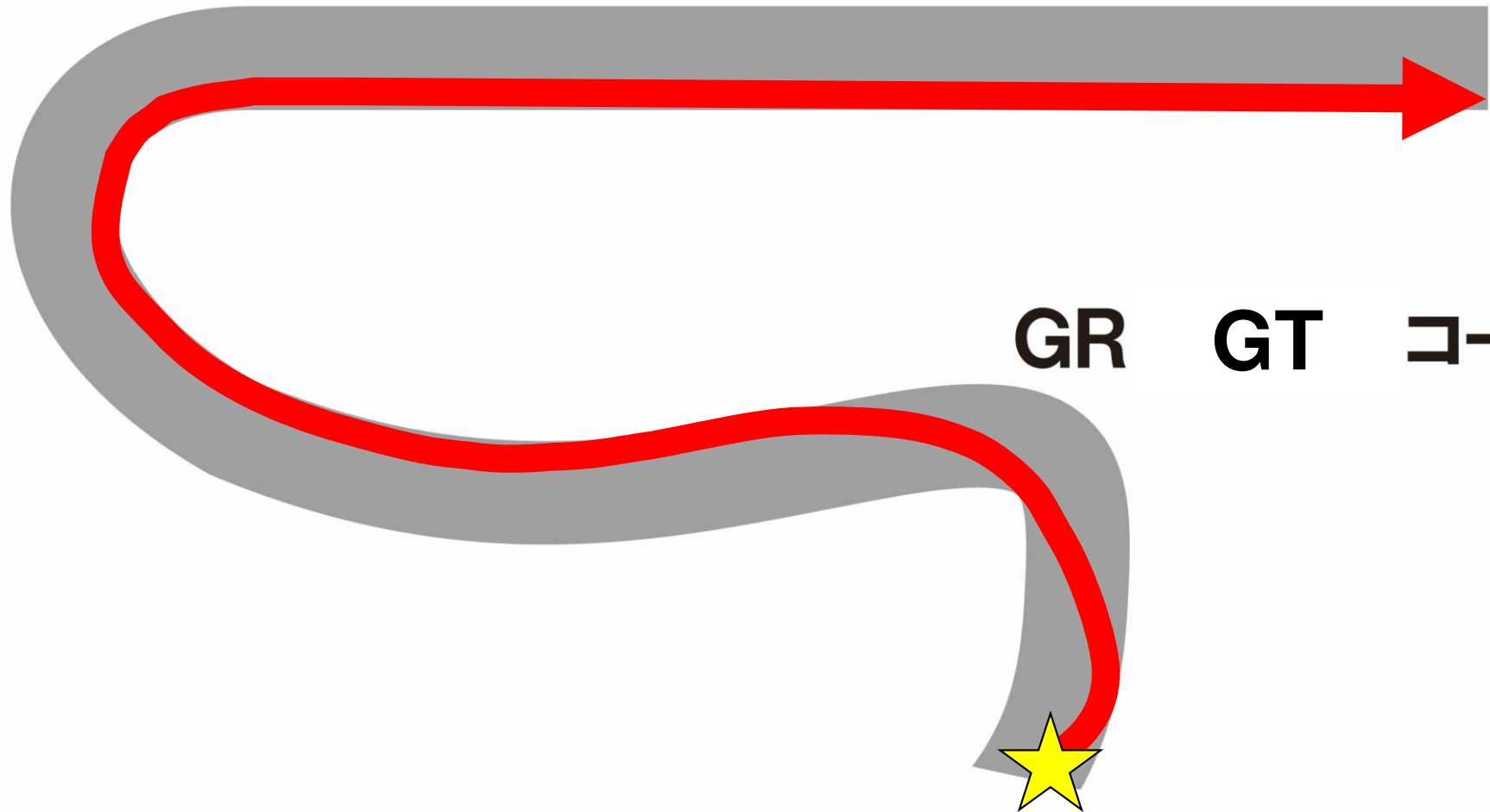
チェッカーフラッグ
が表示される場所



チェッカー後は**追い越し禁止**
コースを1周してピットロードに入る

ピットインの時の最終コーナー走行ライン

パナソニックコーナー



GR GT コーナー

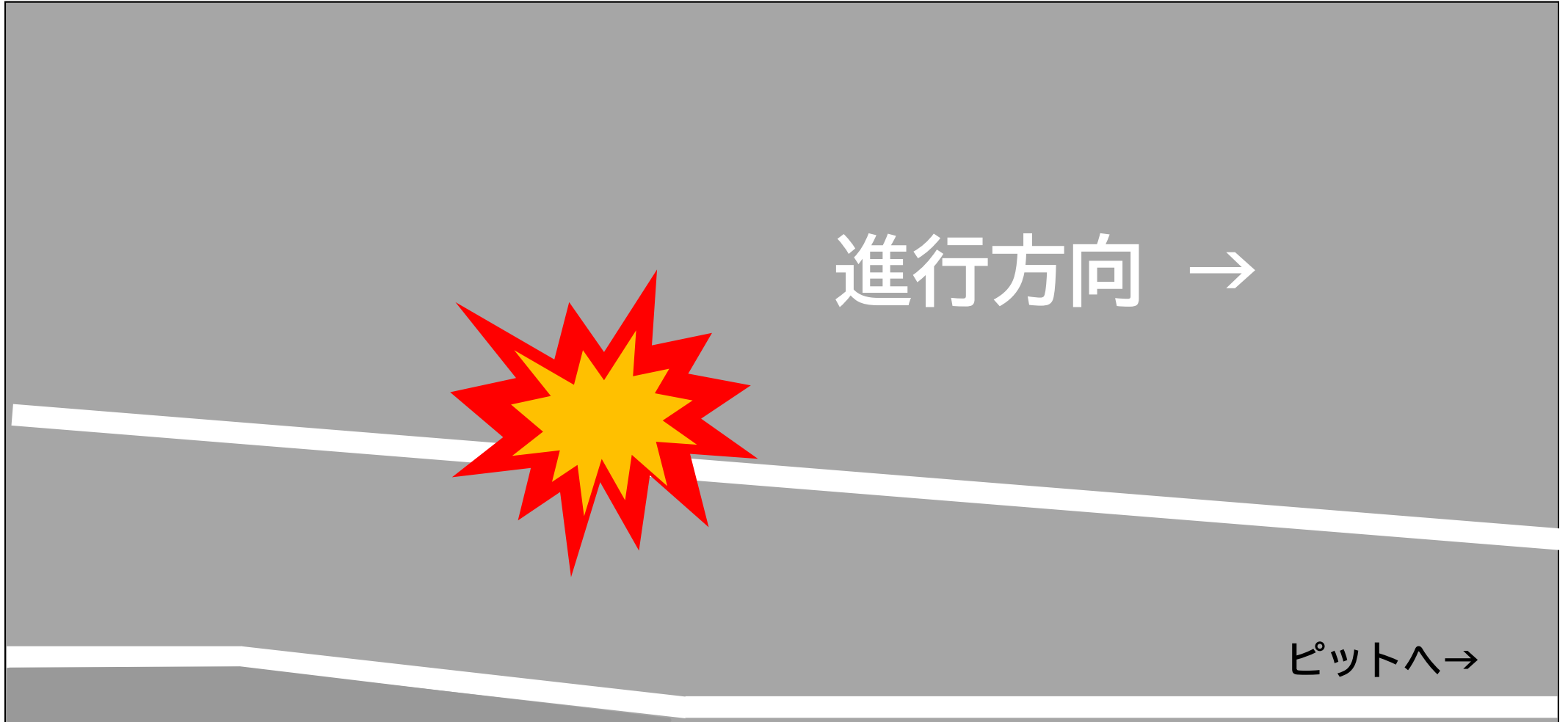
クロスラインの接触を防ぐ為、最終コーナーは予めイン側を走行しましょう

ピットイン時のホワイトラインカット！



Good!

ピットイン時のホワイトラインカット！



危険！絶対ダメ！

コースアウトゲート



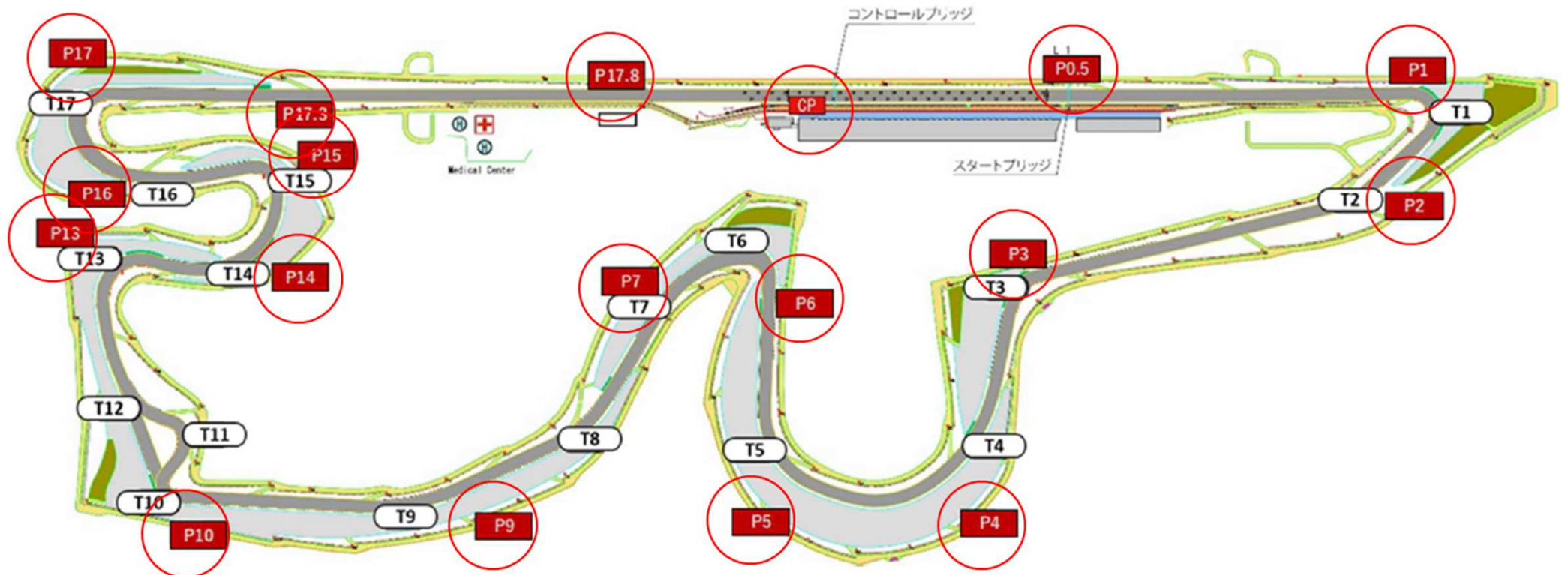


走行終了後は第1ゲートから退場してください。

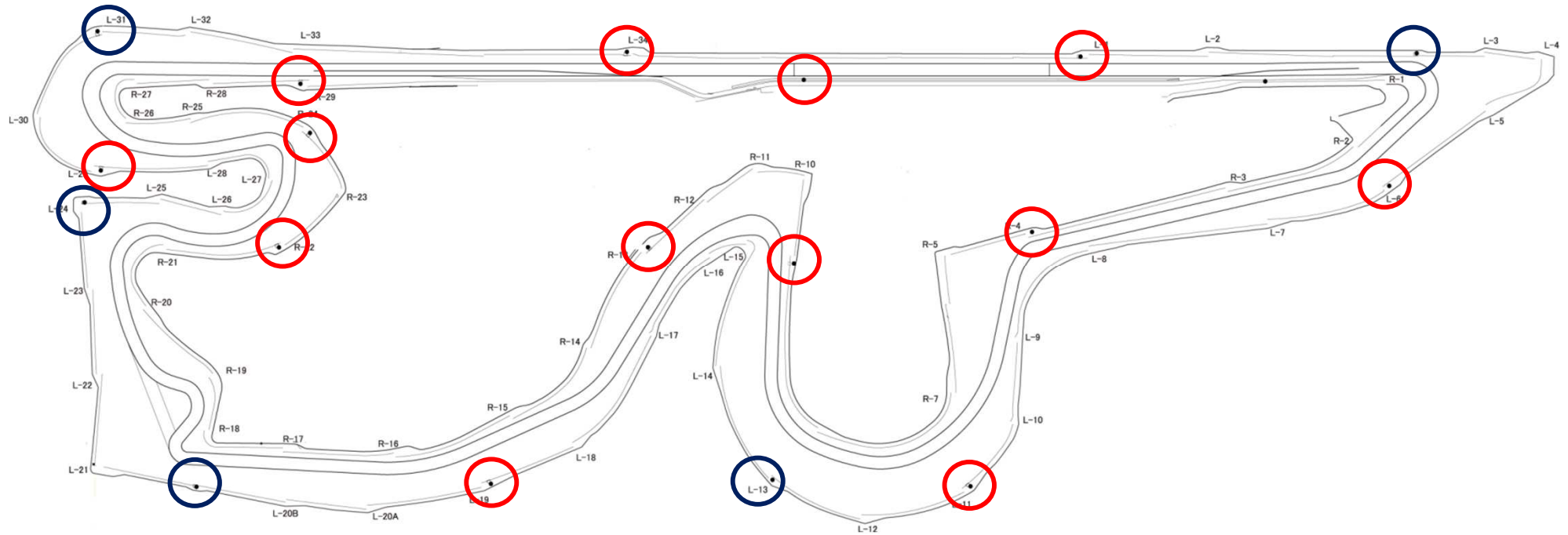


⑤コース監視ポスト

コース内には監視ポストと呼ばれる場所に監視員が配置されています。
ここでは様々な信号旗やボードなどが表示されます。



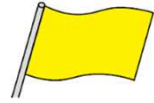
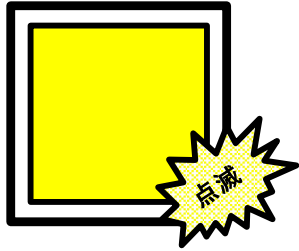
LEDパネル型信号機



LEDパネル型信号機

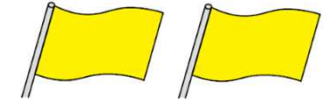
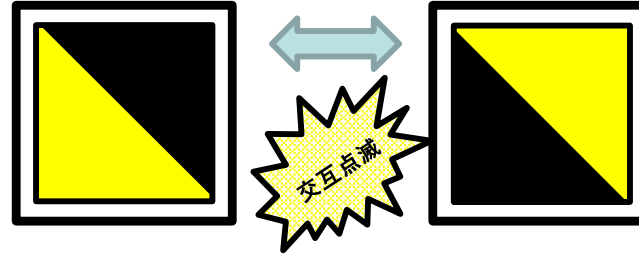


●黄旗1本振動表示●



コースの脇、外側にトラブル

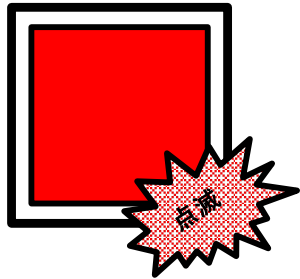
●黄旗2本振動表示●



コース内にトラブル

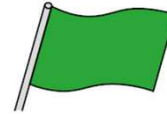
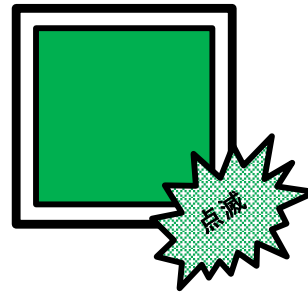
黄旗区間は追い越し禁止！速度を落として走行

●赤旗振動表示●



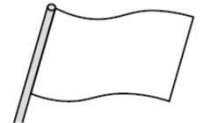
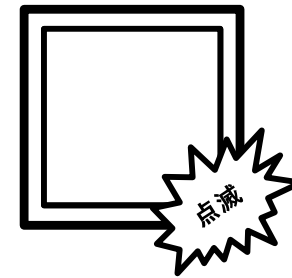
走行中断、中止
確認したら速度を
落としてPITへ戻る

●緑旗振動表示●



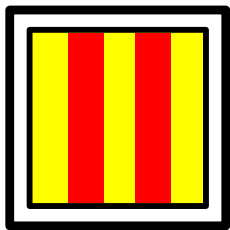
黄旗の解除
通過したら
元の速度に戻る

●白旗振動表示●



前方にスロー
走行車両がいる

●オイル旗表示●



オイル、水、砂利などで
路面が滑りやすくなっている

⑦ 白と黒のチェッカー旗



走行終了
確認したらコースを
1周してPITへ戻る

⑨ 表示板 (サインボード)



車両に何らかの問題がある
確認したらPITへ戻る

【ご注意】

LEDパネル型信号機の表示とポスト員が提示している信号旗が異なる場合は、**信号機が優先**されます。

2. レーシングコース シグナル

① コントロールブリッジ (ゴールブリッジ)



<通常時>

緑色のシグナルが点灯し、ランニングタイマーと走行区分(例:S-4 クラス)が表示されます。



<走行終了時>

黄色のシグナルが点滅し、「FINISH」が表示されます。



<走行中断時>

赤色のシグナルが点灯し、「RED FLAG」が表示されます。



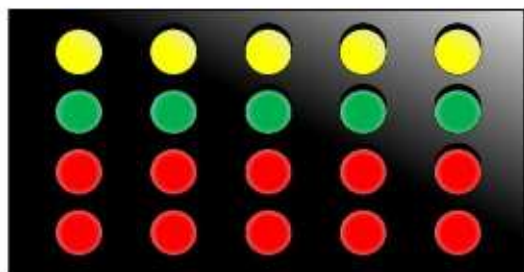
<視界不良時>

「LIGHTS ON」が表示されます。確認したら、ヘッドライト(スモールランプは不可)を点灯してください。



信号灯

スタートシグナル



<黄色点滅>

前方でトラブルが発生中。黄旗2本振動と同様の対応を取ってください。

<赤色点灯>

走行中断。赤旗と同様の対応を取ってください。
※スポーツ走行では、緑色のシグナルは使用しません。

車両トラブル発生時の停止場所

GR GTコーナー

安全性の高いエリア



危険なエリア

車両トラブルによりコース脇に 車両を止めた場合

- エンジン止める
- 鍵はつけたまま
- 車両を離れる際はサイドブレーキをかける
- オイル漏れが発生した場合は、**すぐに安全な所に
車両を止める**

※無理にピットには戻らず、火災に注意する

消火器の場所

レーシングコース



消火器

消火器

消火器看板の根本に、消火器が入ったボックスがあります

ヘルメットを外すのは、ガードレールの内側(サービスロード)に入ってから！

サービスロードへの入り口



後続の速い車両をパスさせる方法

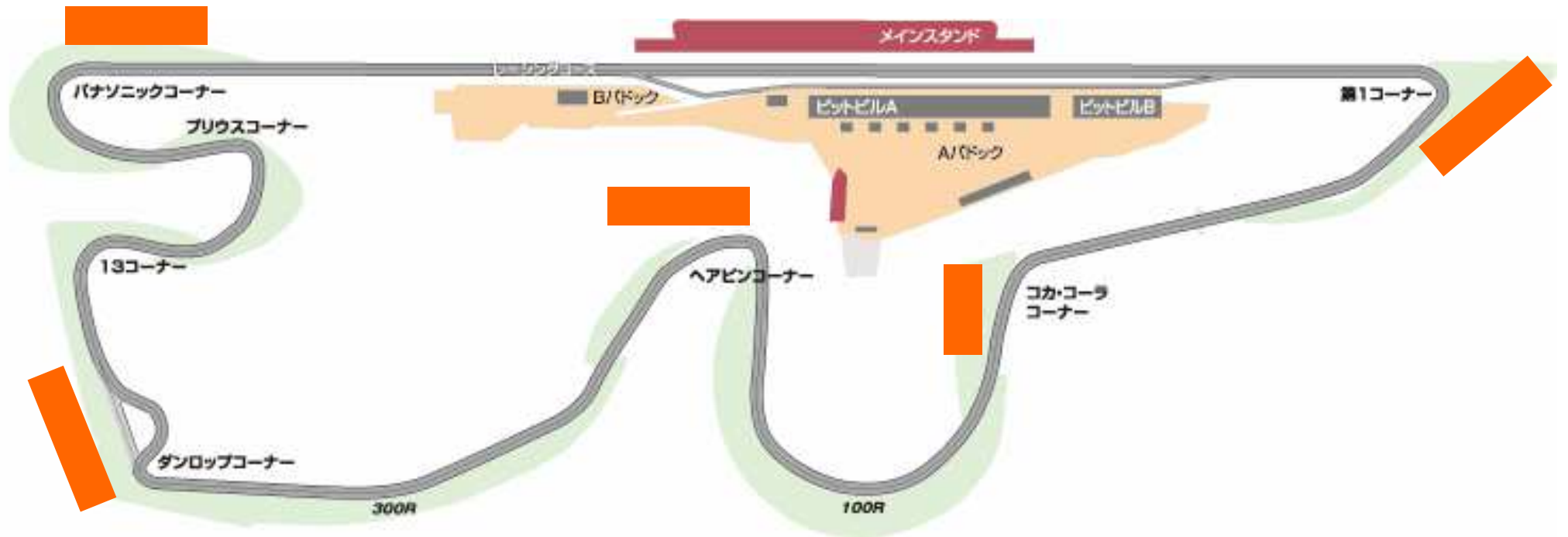
レコードライン

GR GTコーナー



レコードラインをゆずる

グラベルのある場所



グラベル通過時のコース復帰方法



コース復帰後はレコードラインを走らずに、コース右側を走行

ダンロップコーナーの通過方法

タイムスリップのためこの場合のルートは常にはいけません



完全にコースオフした場合

ラップタイムをお守りください

・ビギナークラス

サーキット走行の経験があり、ラップタイム 2分14秒～2分22秒のペースで走行する方

・スーパービギナークラス

サーキット走行の経験が無い方、または走行経験はあるが、ラップタイムが 2分20秒よりも遅い方

・エンジョイクラス

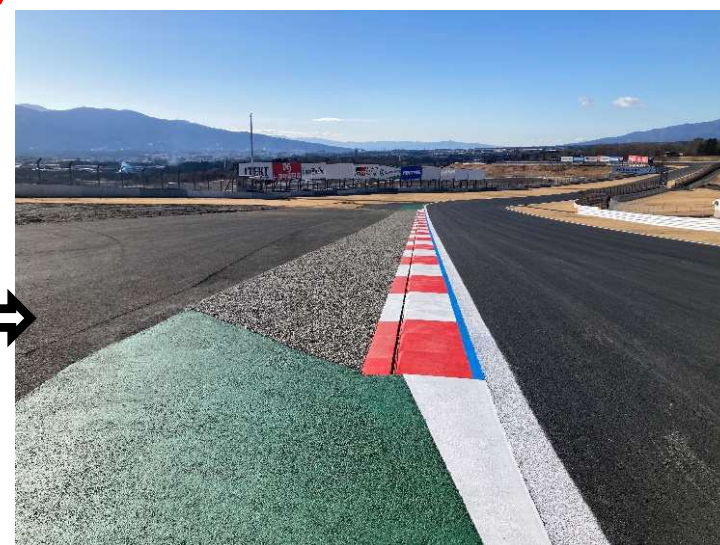
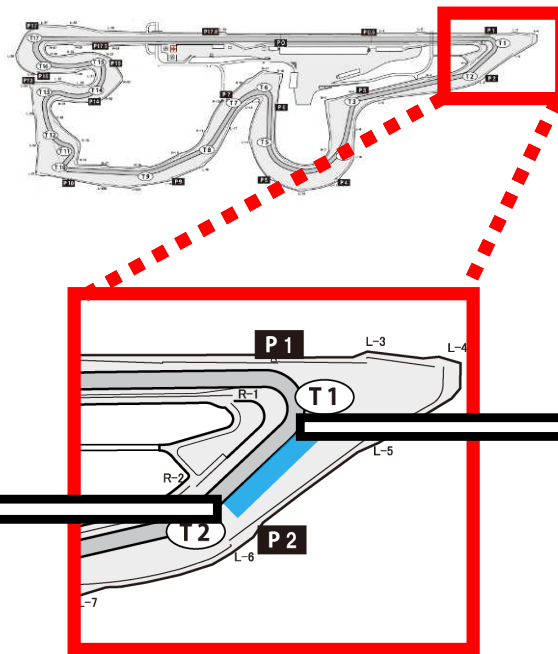
ミニバン・SUV・コンパクトカー・ハイブリットカー・軽自動車で行われる方、またはラップタイム2分25秒より遅いペースで行われる方

タイムアタックの走行会ではありません！規定のラップタイム内で楽しむ走行会です。1回目の走行でタイムが早すぎた方は2回目以降ペースを落としてください。

TGRコーナー グラベル設置のご案内

TGRコーナー T1～T2左側のトラックリミット(はみ出し防止)対策として、FIA指導の下、縁石に沿って84m×2.5mのグラベルベッド(砂利敷設帯)の設置と、周辺ランオフエリアのアスファルト舗装を行いました。

- ・**グラベルベッドを通過すると砂利がコース上に散乱し、滑りやすく、飛び石の危険性もあります**ので十分注意して走行してください。
- ・**グラベルベッド通過後はレコードライン外を走行し、一度ピットガレージへ戻り、車両のチェックをお願いいたします**(ホイール、ブレーキキャリパー等に砂利が混入し、車両トラブルの原因となります)。
- ・**車両に巻き込んだ砂利は、「飛び石の原因」となります**ので、**コース復帰する際は周辺のランオフエリアを利用し、ブレーキング等で砂利を落としてから**走行するようお願いいたします。



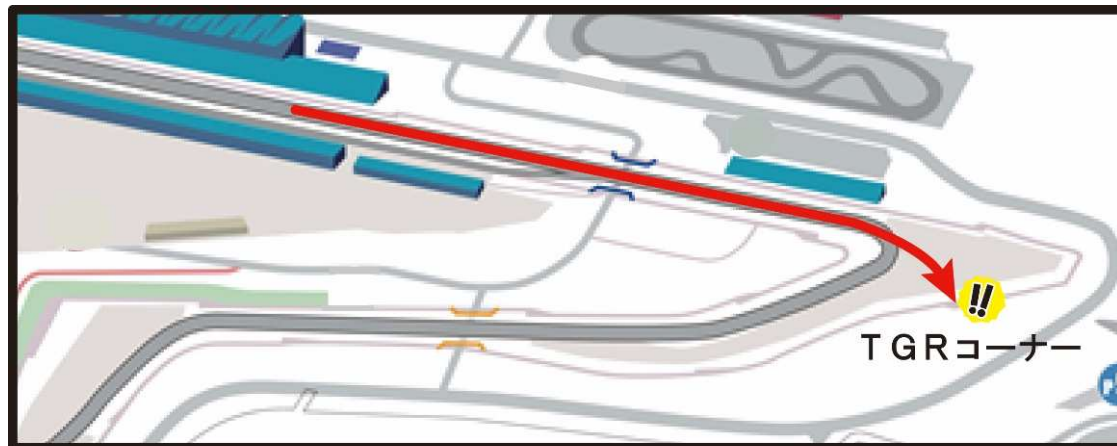
安全のため必ず、ご一読ください

FUJISPEEDWAY

ライセンス会員の皆様へ

12月より、レーシングコース4輪スポーツ走行におきまして、主に**フェード現象が起因となった**ブレーキトラブルによるTGRコーナーでの衝突事故が立て続けに発生しております。ブレーキトラブルは**コースインより全開走行で【6~8周目】**に多発しており、とくに、**ブレーキとタイヤの温度バランスが合わせにくい「冬場」に事故が発生する傾向**にあります。冬場はタイヤの温度が上がりにくく、いざタイヤが温まってアタックした時には、ブレーキが限界に近づいているケースがございます。

ブレーキが原因となる事故が発生した場合、スピード域も高いため、まずもってご自身のお身体や車両へのダメージが大変大きくなります。**走行前のブレーキ整備に加え、危険な兆候の予知や走行方法にご注意いただくことで、衝突事故の発生を大幅に減らすことができます**ので、冬場の走行においては、特にご注意ください。加えて、スピード域が高い事故の場合、サーキット施設に対する破損も甚大で大規模になる場合が多く、復旧工事のため、以降のスポーツ走行は中止せざるを得ない状況にもなります。当日ご来場いただいた他のライセンス会員の皆様にも「走行を断念いただく」など、事故による影響はご自身だけでなく様々なところへ波及いたしますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。



発生件数

12月 3件

1月 2件

サーキット走行でのブレーキトラブルについて

FUJISPEEDWAY

フェード現象

ブレーキパッドには種類によりローター適正温度があり、ローターの適正温度を超えると、ブレーキを踏み込んでも制動力が発生しない『フェード現象』が起こります。通常の走行ではローター温度は【250℃前後】ですが、サーキットでの全開走行は【800℃近く】まで上昇することがあります。ブレーキパッドの性能を十分発揮するためには使用条件温度に適したブレーキパッドを選択することが重要です。一般的な純正ブレーキパッドの適正温度は300℃前後までとなり、サーキットでの全開走行を続けると、『フェード現象』の危険性が増すことから、**サーキット専用のブレーキパッドを装備することが重要**です。なお、**車重が重い車両やトップスピードが速い車両は、ローター温度が高くなる傾向があります。**

サーキット走行に適した800℃対応の専用ブレーキパッドを推奨

詳細は各ブレーキメーカーにお問い合わせください。

危険な前兆

1. ブレーキの感触がやわらかい
2. 通常より奥まで踏み込まないと効かない
3. 制動距離が長くなる

前週のダンロップコーナー等でブレーキングに違和感を感じるがあったら、次のストレートではブレーキが効かないかも！！

事前整備・走り方

ブレーキトラブルを防ぐためには、**ブレーキパッドやブレーキフルードの交換は重要**です。ブレーキを冷ます導風ダクトや、放熱性の高いブレーキローターを導入することも効果があります。**コースインより全開走行を続け【6～8周目】にブレーキトラブルが発生する事例が多数あります。****また対策品を装備しても過信せず、2～3周アタックしたら、クーリングラップを入れてブレーキを冷ますのがベスト！**クーリングラップ中は急な走行ラインの変更はせず、後続車両にレコードラインを譲りましょう。



ルールを守って楽しく、安全に走行しましょう！